

事務事業評価シート

評価実施年度：平成29年度

上位の施策名称 施策Ⅲ-4-5
環境保全の推進

1. 事務事業の目的・概要

事務事業担当課長

廃棄物対策課長 伊藤 耕

電話番号

0852-22-6173

事務事業の名称	市町村の3R施策推進事業	
目的	(1) 対象	市町村又は一部事務組合
	(2) 意図	廃棄物の排出量の削減、再生利用量の増加を実現するため効果的な施策を実施してもらう
事業概要	「一般廃棄物処理の実態調査」により市町村等における一般廃棄物の現況を把握し、分析・公表することなどにより、ごみ総排出量の抑制や再生利用量の増加を推進する。	

2. 成果参考指標

成果参考指標名等		年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	単位
1	指標名 調査実施市町村・一部事務組合の割合	目標値		100.0	100.0	100.0	100.0	%
		取組目標値						
	式・定義 調査実施市町村・一部事務組合数/調査対象・一部事務組合数	実績値	100.0	100.0				
		達成率	-	100.0	-	-	-	%
2	指標名	目標値						
		取組目標値						
	式・定義	実績値						
		達成率	-	-	-	-	-	%

3. 事業費

	前年度実績	今年度計画
事業費(b) (千円)	1,025	1,075
うち一般財源 (千円)	1,025	1,075

4. 改善策の実施状況

前年度の課題を踏まえた改善策の実施状況	③改善策を検討中
---------------------	----------

5. 評価時点での現状 (客観的事実・データなどに基づいた現状)

- 県内対象全市町村等による調査が実施でき、県内におけるの一般廃棄物の処理実態が把握することができている。
- 調査結果については市町村等にも情報提供し、県ホームページにも掲載している。

6. 成果があったこと (改善されたこと)

- 県内の各市町村等が、他の市町村等のごみ処理の状況を把握しながら3Rの取り組みができるよう、結果を取りまとめて情報提供することができた。
- 調査結果は市町村等において、一般廃棄物処理施設整備のための計画策定に活用されるなど、ごみ処理計画の目標設定に役立っている。

7. まだ残っている課題 (現状の何をどのように変更する必要があるのか)

①困っている「状況」

- 県内市町村等において、ごみ減量化・再生利用の促進に関する取り組み(イベント・啓発事業、ごみ減量化に関する助成等)も実施されているが、1人1日当たりごみ排出量が全国的に減少している中、本県では依然として高い傾向が続いている。

(参考) 1人1日当たりごみ排出量 (g)

	H23	H24	H25	H26	H27
全国平均	975	963	958	947	939
本県	944	939	949	960	952

②困っている状況が発生している「原因」

- 1人1日当たりごみ排出量において、着実に減量化が進んでいる市町村もあるが、離島や都市部などでは増加傾向にあり、市町村間での開きも2倍以上となっている。
- 再資源化の取り組みについても、1人1日当たりの排出量が多い市町村においてリサイクル率が低い傾向にある。

③原因を解消するための「課題」

- 市町村等において、ごみの減量化や再資源化の取り組みを推進していくことが必要。
- 県においては、市町村の取り組みに対し支援を行う必要がある。

8. 今後の方向性 (課題にどのような方向性で取り組むのかの考え方)

- 引き続き「一般廃棄物の実態調査」の結果を元に、市町村等にごみの減量化やリサイクル施策の推進に取り組んでもらう。
- 市町村等への説明会等を通じ、他県の取り組みや先進的な事例について情報提供を行う。